



さくら病院

SAKURA

日本医療機能評価機構認定



日本医療機能評価機構

認定 医療機関 総合病院 介護付有料老人ホーム 介護付短期療養所



JAB
JAB
JAB



JNC
JNC
JNC



JQA
JQA
JQA

ISO 9001
ISO 14001
ISO 45001

健・康・通・信

さくら病院の理念

愛の心と確かな医療技術を以って社会に奉仕する。

Vol. 31



さくら病院 3内科紹介



三内科 看護部長
森嶋 さえ子

障害者施設等一般

病棟である3内科は、

ALS、パーキンソ

ン病、脊髄小脳変性

症などの神経難病や

重度の意識障害（J

CS — 30以上）の方々を受け入れています。

全ての患者様が自分でセルフケアを行うことが

出来ず、また自らの意思表示が困難なため、看

護度、介護度の非常に高い病棟です。さらに、

一般病棟である3内科は医療においても積極的

な治療を行う事も多く、看護師は常に患者様の

異常を早期発見できる観察力をもっていないと

はなりません。ケアワーカーも入浴介助やおむ

つ交換、清拭などの介護を通して観察すること

が必要です。

昨年初め、10対1看護体制導入を決定しました。

看護師を確保することが困難な中、4月、5月、

6月と実績を積み9月に申請をすることが出来

ました。看護職員配置を引き上げることです。

様の観察やケアにあたる時間を増やすこと、新

人の指導、業務分担の明確化などを目標に掲げ

業務改善に取り組んでいます。

医療状況は年々厳しくなり、患者様や家族か

らの医療・看護に対する要求が高まる中、いま

で以上に看護の質の確保と医療安全の確保のた

めにスタッフ一同頑張っていきたいと思えます。

新任ごあいさつ



医師
鍋山 尚子

始めまして、9月より勤務しております。

私の専門は糖尿病です。糖尿病の患者さんは増加し続けており、さまざまな合併症を起こされています。高齢化社会となり、御本人が管理できないこともよくあります。家族、福祉、医療すべてがチームとなって取り組まなければいけない問題です。血糖コントロールの重要性を少しでも理解していただけるように頑張りたいと思います。

また内科一般につきましても幅広く診療していき、皆様のお役に立てるように勤めていきたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。



訪問診療・往診のご案内

外来訪問診療部では、在宅療養をご希望される患者様やご家族の皆様のお手伝いをするため計画的な訪問診療と往診を行っています。

【訪問診療の対象になる方】

- 寝たきりや歩行困難などでなかなか病院へ通うことができない方
- 自宅療養を強く希望される方
- 病院を退院したが、体調が思わしくなく医師の定期的な診療が必要な方 等

【往診について】

現在当院にかかりつけの方で急に具合が悪くなり、病院へ行くことが困難な場合などには病院へご連絡下さい。

担当者が話を伺い、対応させて頂きます。

【訪問時間について】

月～金曜日 （祝日・盆・正月の休日は除く）
午後2時 ～ 午後5時

【お問い合わせ・お申し込み】

外来診療との兼ね合いがありますのでよろしければ、8時30分 ～ 17時 までにお問い合わせいたします。
外来受診時やお電話にてお問い合わせ下さい。
外来師長・訪問担当看護師が対応させて頂きます。

ホームページもご覧下さい。



患者様へ安心して投与できる、
清潔な注射薬をつくるため、
クリーンベンチを稼動しました!!

「クリーンベンチ」とは、左の写真にあるような装置で、この中は限りなく細菌がいない空間になっています。この装置の中で、特に細菌感染が心配される、高力ロリー輸液という点滴を、医師の依頼により薬剤師が混合します。

高力ロリー輸液とは、食事などで栄養が十分にとれない場合に使われる、栄養の量が多い点滴で、体の中心部にある大きな血管から投与します。24時間継続して点滴を行ううえ、栄養が豊富に含まれるため、細菌にとつて、とても増殖しやすい環境にあります。そのため細菌や異物が入らないよう、細心の注意が必要となるわけです。

当院では、このクリーンベンチを使って無菌調製を行うことで、患者様へ安心して投与できる、清潔な注射薬をつくっています。また薬剤師が調製を行うことで、混合する薬どうしの相性（配合変化）などをチェックすることができます。

注射薬をできる限り患者様に投与する直前に混合することにも心がけ、細菌感染やその合併症の予防に努めています。



● 脳血管障害について ●

脳血管障害とは脳の血管の器質的もしくは機能的異常により神経症状をもたらす病態の総称です。脳梗塞は虚血による脳組織の壊死(軟化)で、脳動脈の粥状硬化による脳血栓症と頭蓋外からの塞栓子による脳塞栓症とがあり、出血には脳実質内への脳出血とくも膜下腔へのくも膜下出血があります。また、神経症状が発症後24時間以内に消失するものを一過性脳虚血発作(TIA)と呼びます。症状としては、運動障害・感覚障害・意識障害・構音障害・嚥下障害・高次脳機能障害などがあります。

近年、脳血管障害は悪性新生物、心疾患に次いで日本人の死亡原因の第3位となっています。

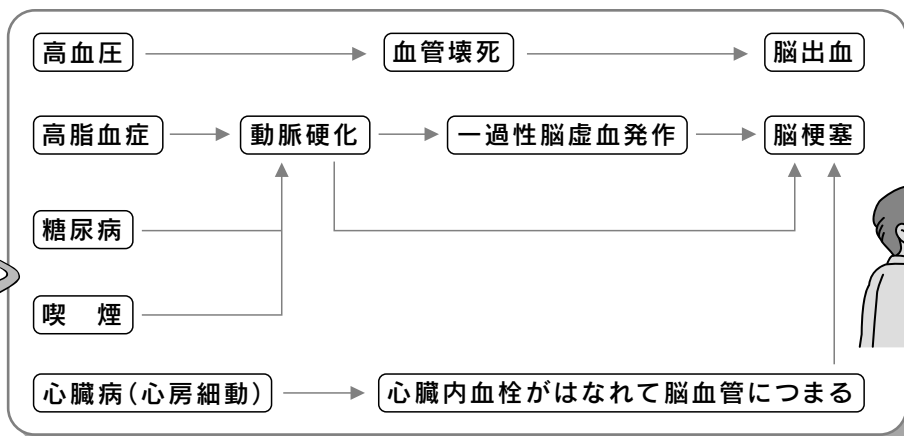
脳血管障害の危険因子

■生活習慣では、

- ①大量飲酒：1日に1合を越えてお酒を飲む人には、脳血管障害で死亡する人が多くなる。
- ②たばこ：1日平均40本のたばこを吸う人は、吸わない人に比べて4倍も脳血管障害で死亡しやすい。
- ③運動不足：運動が不足すると、食事でもったエネルギーを消費しきれず、肥満につながるばかりか、糖尿病や高脂血症、高血圧も引き起こす。
- ④肥満：脳血管障害の危険因子である高血圧や糖尿病の原因になるため、間接的に脳血管障害の危険因子となる。などが危険因子となります。

■症状・病気では、

- ①高血圧：血圧が上昇すると脳血管障害にかかりやすくなったり、死亡する人が多くなったりする。
- ②高脂血症：脳血管障害のうち、脳梗塞になりやすい。
- ③糖尿病：糖尿病の人では、脳血管障害で死亡する率が、正常な人の2～3倍になる。
- ④心臓病：心房細動(脈の乱れ)は、心臓の中にできた血のかたまりが血液の流れに乗っていき、
(心房細動) 脳の血管で詰まって、脳梗塞の原因となる。などが挙げられます。



予防としては、高血圧・高脂血症・糖尿病・心臓病・肥満などの原因となるいろいろな生活習慣を改めることが大切です。一般的に適度な運動は、肥満・高血圧・高脂血症・糖尿病を予防・改善する効果があると言われています。いろいろな運動の中でも、簡単に始められて、長続きしやすいのはウォーキングや水泳です。これは有酸素運動といって、脂肪を燃焼させる効果があるので効果的です。

また、高血圧・糖尿病・心臓病、および下肢の関節痛などがある方は、かかりつけ医師に相談の上運動を行なってください。

インフルエンザ

インフルエンザは通常、初冬から春先にかけて毎年流行します。インフルエンザにかかるると肺炎・気管支炎の他、脳症・心筋炎・中耳炎などの合併症になることもあり、決して軽い病気ではありません。

ワクチンを接種することによってインフルエンザにかかりにくくなり、たとえかかっても症状の重症化を抑えることができるので、特に、高齢者の方は、接種されることをお勧めします。

効果的な接種時期・・・少なくとも12月中旬までに接種を行なわれたほうが良いでしょう。(インフルエンザの流行が、通常12月から翌3月頃ですので、これに備えるためにも・・・)

ワクチンの予防効果が期待できるのは、接種後2週間から5ヶ月程度と考えられています。

※ 毎年、さくら病院には、受験生の方が受験前に慌てて来院されるので、受験生の方は、体調の良い時に早めに接種されることをおすすめします。

さくら病院では・・・

接種回数・・・1回／1人

料金・・・3,000円(65歳未満)

1,200円(65歳以上、福岡市に住民票がある方)

※接種前に検温をいたします。お熱のある方、あるいは問診の結果により接種できない場合もありますのでご了承ください。



■ エビチリ

平成20年10月27日(月) 昼



■ ロールサンド、ビーフシチュー

平成20年10月25日(土) 昼



■ から揚げねぎソースかけ



■ カレームニエル、炊き合せ、中華スープ

当院では、患者様がお好みに合わせてお食事を選ぶことができる『セレクトメニュー』を導入しております。

『セレクトメニュー』は、2種類の献立から希望する献立を選んでいただくもので、一般食と治療食の方を対象に、週3回実施しております。

『セレクトメニュー』の導入については、患者様が自分で好みの食事を選んでいただけるという楽しさを持つて頂き、食欲増進することを目的としています。



「認定看護師1年目」ゆかり

私は、平成20年6月1日、日本看護協会より緩和ケア認定看護師(CN)を取得いたしました。昨年の9月より半年間、住居を福岡から広島へと移し、広島大学大学院保健学先駆的看護実践支援センター緩和ケア認定看護師教育課程にて学びました。

『緩和ケア』について知ることは、がんの治療を阻害するどころか、むしろ、より快適な状態で治療を受けることができるので、実は生存期間も長くなるということをご存じでしょうか? 今年度は、全国で、オレンジバロンプロジェクト(www.kanwacare.net)として、緩和ケアの啓蒙の推進活動として緩和ケアを広く正しく理解していただくために、緩和ケアの肯定的なイメージを広める活動が行なわれています。緩和ケアに関する基本的な情報を提供するだけでなく、人々が痛みを我慢せず緩和ケアをやってみようという気持ちになっただければと思います。

がんを抱えて生活を送られる患者様・ご家族は、身体的・精神的・社会的・スピリチュアルの4つの痛みを多かれ少なかれ抱えていると言われています。認定看護師は、直接ケアに携わり実践・教育・相談の活動を進めていく役割があります。看護を業務として考えるのではなく、患者様・ご家族のケアの視点で多角的に意識し必要な看護ケア見出ししている関わりを行っていきたくと考えています。

さくらユニット 緩和ケア認定看護師 浦 文枝



在宅医療介護センター

ケアプランセンター
さくら

0120-871-335
TEL092-864-1335
FAX092-864-1340



訪問看護ステーション
さくら

0120-206-307
TEL092-864-5700
FAX092-864-5800



ヘルパーステーション
さくら

0120-181-313
TEL092-801-8013
FAX092-864-5800



在宅ケアで支援する為には、ケア提供者である私達がまず自身を持ち、納得出来る、ケアマネジメント、看護・介護の知識、技術、態度(ハート)を提供できるようになることだと思っています。今後も、質の向上に向けてさらに努力してまいります。経験豊かなケアマネジャー、看護師、介護士が伺います。お気軽にご相談ください。

さくら病院での実習の学び

鹿児島市立病院 看護師 塩満多華子

久留米大学認定看護師教育センターでの教育の一環としてさくら病院さくらユニット、さくら訪問看護ステーションでの実習をさせていただきました。看護師として8年病院勤務をしていましたが、改めて学生としての実習は新鮮でした。また、急性期病棟での経験が少なく当初は戸惑いましたが、指導者の方やスタッフのサポート、また受け持ちの患者様や家族の支えがあり無事に終了することができました。

実習では、看護ケアを行う際に、なぜ、このケアが必要であるか ケアを行う意味や根拠を考えると、それを患者自身に伝えて実践することで信頼関係が生まれることを実感することができました。また、患者の不安やスピリチュアルな問題に対してこれまででは、患者と死について語ることが怖く、向き合えていなかった自分の心の弱さに気がつくことができました。人間対人間として向き合うことがこの実習でできるようになったと思います。

院外イベントや遺族会などに参加することができ充実した日々でありました。患者様との出会いの中で悩みながらもこれまでの看護の裏付けを大切に接すること忘れずに自分もやればできると信じて緩和ケアに携わっていきたいと思っています。

さくら病院での学びは、看護師を目指した頃の自分を思い出し新たな気持ちでの再出発となりました。本当にありがとうございました。



院外イベント

福岡市植物園散策

10月始め、「植物園に行きましよう。お父さん、お母さんも行きませんか?」とお誘いを頂き、私達もいいですか?と2人とも参加する事を申し込んでいました。10月15日が来るのを楽しみにしていました。

10月15日は絶好の天気で、私達をとてもよい気分させてくれました。温室には沢山の熱帯植物や私達の知らない草、花、木と目を見張る程の種類の植物又バナナ等、色々木の実がなり取ってよいなら取りたい気分でした。スタッフの方やボランティアの方の患者家族の心を和らげてくださる、心づかいに頭の下がる思いでした。又温室の中で、お菓子やジュースなどたれりつくせりのサービスを受け日頃の疲れがふつとんだようです。お陰様で私達家族、又患者も元気を頂き一日一日を大切にすごしていきたいと思っています。

大好きなコスモスの花の前での記念写真は心に残る一枚となるでしょう。

さくらユニット院外イベント参加家族



さくら病院では「医療連携室」と「医療相談室」を2つの柱として相談窓口業務を行っています。
どうぞお気軽にご相談ください。

【病診・病病連携のご案内】

地域の病院・診療所と連携をとるために医療連携室を設けております。
患者様の病気や症状に応じ、「診療所と病院」、「病院と病院」、「病院・診療所と特定機能病院」が
連携を密にし、患者様に適切な治療を行えるよう、検査・入院体制を整備しています。

医療連携室 TEL092-864-1212 / FAX092-865-4570

担当 楠原 治之 (医療連携室長)

南里 幸嗣 (連携室主任)

篠原 和子 (外来師長)

小川 美和 (医療ソーシャルワーカー)

谷屋 洋子 (医療ソーシャルワーカー)

中村 亜古 (事務部)

相談受付 (医療相談室とも)

平日 午前9:00～午後 5:00

土曜日 午前9:00～午後 12:30

※日祝祭日は除く



■さくら病院では、セカンドオピニオンのご相談にも応じています。まずは、お電話でお問合わせください。

外来診療表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	第1診察室	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科
	第2診察室	楠原 内科/消化器科(肝臓)	王寺 内科/胃腸科	鍋山 内科/糖尿病	西本 内科/胃腸科	王寺 内科/胃腸科	楠原 内科/消化器科(肝臓)
	第3診察室	石川 内科/胃腸科	村上 内科/心療内科		岡田 内科/胃腸科	平林 内科/心療内科	大隈 内科/糖尿病外科
午後	第1診察室	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	江頭(芳) 総合診療科/脳卒中・胃腸科	王寺 内科/胃腸科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	江頭(啓) 総合診療科/東洋医学科	
	第2診察室	鍋山 内科/糖尿病	西本 内科/胃腸科	佐々木(秀) 内科/血液・腫瘍	楠原 内科/消化器科(肝臓)	石川 内科/胃腸科	
	第3診察室	村上 内科/心療内科	岡田 内科/胃腸科	佐々木(靖) 循環器(隔週)	早田 内科消化器科(肝臓)	安部 脳神経外科	
	第5診察室	田川 内科/神経内科		田川 内科/神経内科			
専門外来 (予約制)	午前	井上 神経内科外来		馬場 神経内科外来 福島 呼吸器内科外来	渡辺 呼吸器内科外来	岡崎 放射線科外来	
	午後	田川 物忘れ外来 鍋山 内科/糖尿病	岡田 胃腸科外来	王寺 胃と腸外来 田川 物忘れ外来 佐々木(秀) 血液・腫瘍外来 佐々木(靖) 循環器科外来(隔週)	楠原 肝臓外来 早田 肝臓外来	安部 脳神経外科	

病院までの交通アクセス

■地下鉄七隈線
(福大前下車、1番出口より徒歩10分)

■バス(西鉄バス長野町バス停下車)

西鉄バス系統番号

(天神方面より) 12,13,14,61,114,140番

(西新・飯倉方面より) 95番

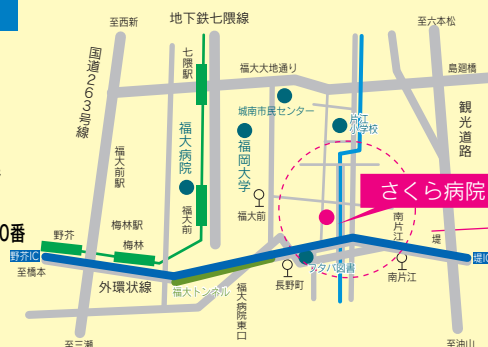
(博多駅方面より) 12,13,16,18,64,114,140番

(松原・片江方面より) 6,12,13,14,16,18,61

64,95番

■車(病院裏手に専用駐車場があります。)

天神より約30分・堤ICより約5分



医療法人社団 江頭会 さくら病院
在宅医療介護センターさくら



社会福祉法人 桜花会
ライフケア大手門

社会福祉法人 桜花会
特別養護老人ホーム ライフケアしかた

高齢者安心ハウス
あっとほーむ片江

〒814-0142 福岡市城南区片江4丁目16-15 TEL092-864-1212 FAX092-865-4570

E-mail: info@sakurahp.or.jp

ホームページ: <http://www.sakurahp.or.jp/>

(12月1日ホームページを更新いたしました)

(事務所 TEL 092-801-7386)